

嘉手納検定（ウルトラ級）

年 名前

〈嘉手納町に関する問題（教育要覧：Ⅱ社会の変遷より出題）〉

1、縄文・貝塚・グスク・琉球王朝時代の嘉手納

- 7千年前の沖縄縄文時代、最古の遺跡と言われる（ ）「野国貝塚B地点」である。遺跡から（ ）「曾畑（そばた）式土器」が発見され、貝塚や獣骨、（ ）が661頭分も発見され、嘉手納周辺一帯は大昔から山海の幸に恵まれ、豊かで（ ）として開けていたことがわかる。
- 貝塚時代は日本本土の弥生・古墳・奈良・（ ）に相当する。遺跡としては（ ）「野国貝塚A地点」があり、（ ）が発見される。「煮沸用水入れ」として使用したであろう（ ）の土器が発見されている。住居は（ ）を利用し、川や海で（ ）、山野で狩りや木の実などを採取し生活していたと推察される。さらに野国貝塚C地点、（ ）が確認され、生活の場が台地や海岸砂丘地に移り営む。
- グスク時代は、稲作を中心に（ ）が営まれる。約800～400年前の時期で、鎌倉・（ ）・江戸時代直前に相当する。定住生活の人々は、集落を形成し、早くから屋良・（ ）
- 嘉手納集落ができ、町内では屋良グスク、嘉手納グスク、国直グスクが知られる。
- 琉球王朝時代は、首里城を中心に琉球王国の幕開けである。第一尚氏六代目（ ）の時、天下取りをめざし登場したのが屋良出身と言われる（ ）である。天下取りは果たせなかったが一大風雲児として琉球史に燦然と輝いている。

①住み良い地域 ②開元通宝 ③甕形・深鉢型 ④爪形文土器 ⑤平安時代 ⑥魚介類 ⑦嘉手納貝塚 ⑧室町
⑨阿麻和利 ⑩洞窟 ⑪イノシシの骨 ⑫尚泰久王 ⑬水釜貝塚 ⑭野国 ⑮ 農耕生活 ⑯ 渡具知東原遺跡

2、嘉手納村の誕生そして嘉手納町へ

〈嘉手納町の変遷に関する問題「教育要覧 社会及び教育の概要 Ⅱ社会の変遷」から出題〉

- 1609年、島津支配下におかれ、間切（現在の市町村）として、当時、（ ）の3つの村があった。
- 1868年、明治維新により（ ）に変わった。1872年（ ）が設置される。1879年には（ ）が設置され、間切時代が終わり、北谷村が誕生、北谷村字屋良、（ ）字嘉手納、字野里の4字だった。その後、大正・昭和年間には国直、久得、千原、兼久、東、伊金堂、嘉前、嘉手納大道り、水釜と独立し13カ字が誕生した。
- 今次大戦で米軍最初の（ ）となり焦土と化した。終戦後、米軍は旧嘉手納飛行場をそのまま使用し、拡張が進められた。北谷村は南北に分断され、役場等への用事も不便をきたし、分村の陳情により議会で承認され（ ）分離独立し、（ ）が誕生した。その時の人口が（ ）だった。以後、町の大先輩方が、社会の変化に対応したあたらしい街づくりを目指し、なお一層の向上・発展を図るため、（ ）充実・発展を期して（ ）へ移行し、当時県内（ ）の町制がスタートした。

①沖縄県 ② 明治政府支配 ③3,800人、 ④上陸地点 ⑤琉球藩 ⑥1976年1月1 ⑦7番目
⑧1948年12月4日 ⑨字野国 ⑩町 制 ⑪嘉手納村 ⑫屋良・野国・嘉手納



から見た比謝橋、アーチの名称は右から フェヌハシ、補助はけ口、ユーハイバシ、ナカナハシ、野国

〈嘉手納町の変遷に関する問題「嘉手納の 」から出題〉

3、左の写真は、戦前の比謝橋の姿です。

- 石造りで頑丈な姿に、半円形の水門を5門も備え、風光明媚な比謝川の風景に溶け込み、優美な姿さえ醸し出している。
- 当時は、中部と北部を行き交う橋として、存在は重要であった。
- その時代、生活苦から少女の身売りが行われ、買われていく途中、比謝橋を渡る直前に歌った歌がある。その歌を完成させよ！
- 恨む比謝橋や（ ）人ぬ
（ ）と思てい 架けてい うちえさ

詠 恩納ナビー

〈嘉手納町の先人に関する「嘉手納の先人たち」から出題〉

- 4、右の写真はわが町の偉大なる先人、野国總管様である。（ ）年）中国福建省から（ ）苗）を持ち帰った人。琉球の命の恩人、産業の（ ）大恩人とも称された。
- ①屋良が生んだ一英雄（ ）②きわめた空手の奥義、チャンミーこと（ ）である。
- ③琉球音楽の大いなる道しるべ（幸地 亀千代 氏）（奥間 盛正氏）である。
- ④3代目屋良城主は（ ）



5、嘉手納町の学校教育に関する問題 <「教育要覧：Ⅲ教育の沿革」から出題>

- (1890年：明治23年)に()に簡易小学校が設立、(1893年：明治26年)簡易小学校廃止、(1894年：明治27年)野國()小学校となったが、(1901年：明治34年)北谷尋常小学校に統廃合され、廃校となる。
- (1902年：明治35年)北谷尋常小学校()が設立され、屋良小学校での教育の始まりである。
- (1906年：明治39年)分離独立、屋良尋常小学校が開校。
- 1910年明治43年、県立2中が設立、県立沖縄中学校(後の県立第1中)が首里城北殿で開校、教育の(地域均等)を図るため1912年大正元年、嘉手納に移転した。1916年大正5年、国頭農学校、()・島尻農学校が合併し2中の敷地内に()が併設された。
- その後2中は1919年大正8年に那覇に移転し授業が再開されるにいたった。
- 1908年明治41年に小学校令の改正により、1916年：大正5年、屋良尋常()小学校となる。
- 1917年、屋良実業補習学校、1926年、青年訓練所、1935年昭和10年、屋良実業補習学校と青年訓練所が統合され()が付設、1942年昭和17年には、屋良青年学校として独立、初代校長に()氏が当たった。
- 1941年昭和16年から国民学校令により、屋良尋常小学校から屋良()学校へ改称、1944年昭和19年、沖縄に日本軍が駐屯、校舎は兵舎に授業は民家や仮校舎での学びとなった。
- 1945年昭和20年、米軍の空襲が始まり学校教育は休止となった。

ア中部農学校 イ高等 ウ 県立農学校 オ国民 カ野國村 キ青年学校 ク喜友名朝誓 ケ尋常 コ屋良分教場

6、歴代村長・町長名でかっこを埋めよ<行政の歴代首長についての問題「町制施行40周年記念写真集」より出題>

初代・5代村長()氏)、第2代村長()氏)、第3代村長()氏)、
第4代村長()氏)、第6・7代村長、初代・2代町長()氏)、
第3・4・5代町長()氏)、第6・7・8・9・10代町長()氏)で、
現在は()町長で第11・12代町長として、「ひと、みらい輝く交流のまち かでな」を将来像に掲げ町政を推進している。

ア宮城篤実 イ古謝得善 ウ伊禮春昌 エ吉浜朝永 オ奥間敏雄 カ喜友名朝誓 キ喜友名朝順 ク當山 宏

7、名誉町民等に関する問題

- 嘉手納町初の名誉町民()氏)である。
- 嘉手納町初の町友は()氏)である。
- 嘉手納町初の観光大使は()氏)である。

8、本町議会に関してかっこを埋めよ<町議会に関する問題「町制施行40周年記念写真集」より出題>

本町の議会議員の人数は()名)で、議長は()氏)で、第()代である。

9、町内で行われる祭りやイベントに関する問題

- 秋に行われる最も大きな2日間の祭りは()である。
- 6月に行われる著名なミュージシャンを迎えての催しは()で()というユニットが有名で、他にも多くの人気アーティストが出演し、観客は県内外、各地より足を運び大盛況ぶりである。
- 町内ではそれ以外に、社交業組合主催の沖縄独特の名酒が味わえる()や、真夏に欠かせない、ノドを潤す()などもある。
- また、嘉手納町の「・・・月見どころにちなんだ歌」のコンテスト()なども催され「音楽の町かでな」を発信している。
- さらに、全国的な人気歌手「郷ひろみ」様が音楽にちなんだ行事にと寄付が届けられ、それを原資として開催される()など、音楽の町としての力強い発信をしている。

10、わが町には自慢のハンバーガーがある。

(1)、1975年の創業から40年以上愛され続け、シンプルで飽きのこない味をモットーに、パティ(ハンバーグ)、輪切りのたまねぎ、トマト、チーズ、特性のオーロラソースを、しっとりパンズではさんだハンバーグのなまえは()

(2) 牛肉100%のパティに、柔らかく煮込んだ黒毛和牛の牛スジ肉をグザイにした農耕ミートソースがたっぷりとかかった、第6回全国ご当地バーガーグランプリでベストクオリティ賞を受賞したハンバーガーの名前は()

(3) 嘉手納町有料特産品に推奨されており、本場アメリカのハンバーガーの味を知ってほしいとフロリダ帰りのオーナーが作る、サイズの大きく魚を使った有名なハンバーガーの名前は()